

点検・評価シート（1）

大和市生涯学習推進計画

（教育委員会所管分）

◆ 評価の基準について ◆

○施策目標の「総合評価」

A評価	施策目標の実現に向けて、期待を上回る結果が表れている。
B評価	施策目標の実現に向けて、期待された結果が表れている。
C評価	施策目標の実現に向けて、期待された結果が表れていない。

○個別目標の方向の「達成度」

A評価	個別目標の進捗状況が、25年度に期待された結果を上回っている。
B評価	個別目標の進捗状況が、25年度に期待された通りの結果になっている。
C評価	個別目標の進捗状況が、25年度に期待された結果を下回っている。

※平成25年度より、「学校施設スポーツ開放事業」を除くスポーツ課所管事業と生涯学習センター所管の「音楽・演劇フェスティバル開催事業」は市長部局の所管となったため、今回の点検・評価シートには記載されておられません。

施策目標1 学習による自己充足を図ります

人は学習することで、心身の充足感を満たすことができます。

生きがいを見つけてそれを実現するために学びを必要とし、その学習過程や学習成果によって、自己充足することができます。

施策目標1では、生涯各期、市民ニーズや現代的課題、スポーツや健康、そして芸術・文化・歴史といった、4つの個別目標に基づき市民一人ひとりが学習によって自己充足できるよう、学習機会の提供をします。

■実施計画掲載事業と平成25年度の実績

▼個別目標1—(1) 生涯各期に合わせた学習機会の提供

●乳・幼児期に対応する学習機会を提供します。

・保護者同士の交流の場や学習機会を提供することによって、乳・幼児と保護者がともに学び、成長できるような学習機会を提供します。

●青少年期に対応する学習機会を提供します。

・「生きる力」を養うために、生涯にわたって学び続ける意欲や、自らが考え、判断し、行動できる資質や能力を身につける学習機会や体験活動を提供します。

●成人期に対応する学習機会を提供します。

・心にゆとりを持ち、さらなる自己開発をめざすために、趣味や教養、就労に関する学習、高齢期に向けての生きがい探しや健康づくりのための学習などさまざまなジャンルに対応した学習機会を提供します。

●高齢期に対応する学習機会を提供します。

・高齢化に伴う新たなライフスタイルに対応した学習機会として、趣味や教養、健康に関する学習機会のほか、生きがいづくりとしてのボランティアや地域活動に活かせる学習機会についても提供します。

(1)講座等の開催（乳・幼児期）

[担当] 生涯学習センター

[事業内容] 乳・幼児期に関する講座等を開催しました。

学級や講座を増やすとともに、交流の場となる保育室の開放を行いました。

[計画と実績]	H24	H25	H26
市企画運営の乳・幼児期事業数	実績:44 事業	実績:44 事業	実績:-
保育室開放や相談事業などの事業数	計画:24 事業 実績:31 事業	計画:25 事業 実績:36 事業	計画:26 事業 実績:-

(2) 学習団体による学習成果の地域還元 (乳・幼児期)**[担当] 生涯学習センター**

[事業内容] 乳・幼児期の子育て等に関連した市民の学習団体が企画・運営する講座などに対し、施設の優先予約や企画相談などの支援をしました。

[計画と実績]	H24	H25	H26
	学習団体企画運営の乳・幼児期事業数	計画:11 事業 実績:15 事業	計画:13 事業 実績:20 事業

(3) 読書活動の推進**[担当] 図書館**

[事業内容] 図書館及び保育園などにおいて乳・幼児を対象としたおはなし会を開催しました。ブックスタートなど、乳幼児と保護者に本との出会いや親しむ機会を提供しました。



ブックスタート

[計画と実績]	H24	H25	H26
	おはなし会の開催数	計画:25 事業 実績:81 事業	計画:27 事業 実績:88 事業
4か月児健診時の図書 の配布 (ブックスタート)	実績:実施	実績:実施	実績:-

(4) 講座等の開催 (青少年期)**[担当] 生涯学習センター**

[事業内容] 青少年が自主性や協調性を養えるようなさまざまな社会体験や自然体験などができる講座やイベント等を開催しました。



父と子の料理教室

[計画と実績]	H24	H25	H26
	市企画運営の青少年期事業数	計画:20 事業 実績:26 事業	計画:21 事業 実績:25 事業

(5)学習団体による学習成果の地域還元 (青少年期)		[担当] 生涯学習センター		
[事業内容]	市民の学習団体が企画・運営する体験講座や入門講座といった青少年期に対応する講座等に対し、施設の優先予約や企画相談などの支援をしました。			
[計画と実績]		H24	H25	H26
	学習団体企画運営の 青少年期事業数	計画:4 事業 実績:4 事業	計画:5 事業 実績:1 事業	計画:5 事業 実績:-

(6)青少年の健全育成		[担当] こども・青少年課		
[事業内容]	青少年が自主性や協調性を養えるようなさまざまな社会体験や自然体験などができる講座やイベント等を開催しました。			
				
		わくわく冒険隊		
[計画と実績]		H24	H25	H26
	ユースクラブが知識や 技術を習得するための 会議や研修の日数	計画:21 日 実績:30 日	計画:23 日 実績:27 日	計画:25 日 実績:-

(7)少年洋上体験の実施		[担当] こども・青少年課		
[事業内容]	青少年が海という大自然のなかで、力を合わせて船を動かすことにより、連帯感や達成感、決断力などを学ぶ事業です。 大阪市が所有する帆船「あこがれ」による「セイル・トレーニング事業」を活用し、実施してきましたが、大阪市の事業廃止に伴い、当該事業は廃止となりました。代替事業として、平成26年度からこども体験事業を実施します。			
[計画と実績]		H24	H25	H26
	さまざまな情報媒体を 用いて広く市民に周知	実績:未実施	実績:廃止	/

(8)講座等の開催 (成人期)		[担当] 生涯学習センター		
[事業内容]	成人期に対応する学習機会として、教養や就労、生きがい探し、健康づくり等をテーマとした講座等を開催しました。			
[計画と実績]		H24	H25	H26
	市企画運営の成人期 事業数	計画:4 事業 実績:10 事業	計画:4 事業 実績:8 事業	計画:5 事業 実績:-

(9) 学習団体による学習成果の地域還元 (成人期)		[担当] 生涯学習センター		
[事業内容]	市民の学習団体が企画・運営する人材養成講座や体験講座といった成人期に対応する講座等に対し、施設の優先予約や企画相談などの支援をしました。			
[計画と実績]		H24	H25	H26
	学習団体企画運営の成人期事業数	計画:2 事業 実績:2 事業	計画:4 事業 実績:7 事業	計画:5 事業 実績:-

(10) 講座等の開催 (高齢期)		[担当] 生涯学習センター		
[事業内容]	高齢期に対応する教養、健康や生きがい、ボランティアなどに関する講座等を開催しました。			
				
	シニアセミナー			
[計画と実績]		H24	H25	H26
	市企画運営の高齢期事業数	計画:2 事業 実績:6 事業	計画:4 事業 実績:7 事業	計画:5 事業 実績:-

(11) 学習団体による学習成果の地域還元 (高齢期)		[担当] 生涯学習センター		
[事業内容]	市民の学習団体が企画・運営する交流事業など高齢期に対応する講座等に対し、施設の優先予約や企画相談などの支援をしました。			
[計画と実績]		H24	H25	H26
	学習団体企画運営の高齢期事業数	計画:2 事業 実績:2 事業	計画:4 事業 実績:2 事業	計画:5 事業 実績:-

▼個別目標1—(2) 市民のニーズや現代的課題に合わせた学習機会の提供

- 市民のニーズに応える学習機会を提供します。
 - ・変化する市民のニーズを把握し、それに応える学習機会を提供します。
- 社会の要請に合わせた「現代的課題」に関する学習機会を提供します。
 - ・地球環境の保全、国際理解、男女共同参画社会の実現、情報化社会への対応、家庭教育支援など、市民が日々生活する上で知り、理解しておくことが望まれる学習機会を提供します。

(1)講座等の開催		[担当] 生涯学習センター		
[事業内容]	講座等の実施に際してアンケートや市民を募って企画委員会を実施するなど、市民のニーズを把握し、講座等を実施しました。			
[計画と実績]		H24	H25	H26
	アンケート調査の実施回数(講座事業全てにおいて実施)	計画:141回 実績:145回	計画:149回 実績:150回	計画:158回 実績:-

(2)講座等の開催 (現代的課題)		[担当] 生涯学習センター		
[事業内容]	地球環境の保全、国際理解、男女共同参画などの「現代的課題」に関する講座等を開催しました。			
				
		防災講座		
[計画と実績]		H24	H25	H26
	市企画運営の現代的課題の事業数	計画:13事業 実績:25事業	計画:13事業 実績:25事業	計画:14事業 実績:-

(3)学習団体による学習成果の地域還元 (現代的課題)		[担当] 生涯学習センター		
[事業内容]	市民の学習団体が企画・運営する環境や平和など、現代的課題に対応する講座等に対し、施設の優先予約や企画相談などを支援しました。			
[計画と実績]		H24	H25	H26
	学習団体企画運営の現代的課題事業数	計画:28事業 実績:18事業	計画:28事業 実績:22事業	計画:29事業 実績:-

▼個別目標1—(3) スポーツや健康に関する学習機会の提供

- スポーツに親しむための学習機会を提供します。
 - ・市民の学習団体が企画・運営するスポーツ講座等を支援することで気軽に参加できる学習機会を提供します。
- 健康を増進する学習機会を提供します。
 - ・健やかに楽しく生きるために、さまざまな健康増進や食について学習する機会を提供します。

(1)講座等の開催（健康を増進する講座等）		[担当] 生涯学習センター		
[事業内容]	市の企画・運営による食育やスポーツなど健康を増進する講座等を開催しました。			
[計画と実績]		H24	H25	H26
	市企画運営の健康を増進する事業数	計画:4 事業 実績:6 事業	計画:5 事業 実績:3 事業	計画:7 事業 実績:-

(2)学習団体による学習成果の地域還元（健康を増進する講座等）		[担当] 生涯学習センター		
[事業内容]	市民の学習団体が企画・運営するスポーツ講座など健康を増進する講座等に対し、施設の優先予約や企画相談などの支援をしました。			
[計画と実績]		H24	H25	H26
	学習団体企画運営の健康を増進する事業数	計画:14 事業 実績:16 事業	計画:14 事業 実績:25 事業	計画:15 事業 実績:-

▼個別目標1—(4) 芸術・文化・歴史に関する学習機会の提供

- 芸術や文化に親しむ学習機会を提供します。
 - ・芸術鑑賞の機会・芸術文化に関する講座など、市民が芸術や文化に親しむ学習機会を提供します。
- 歴史や伝統が受け継がれていくための学習機会を提供します。
 - ・市民が伝統文化を知る機会の充実を図り、歴史や文化が後世に継承されていくための学習機会を提供します。
 - ・郷土資料や文化財・史跡などについては、調査・研究の上で公開・展示といった形の学習機会も提供します。

(1)ギャラリーの貸出(会議室等の貸出)		[担当] 生涯学習センター		
[事業内容]	ギャラリーにおける展示が盛んになるよう、芸術文化にかかる学習団体に働きかけ、より多くの団体の発表の場としました。 またギャラリーの利用に際しては、広報やまと、チラシ配布、ホームページ等を用い、広報周知の支援も行いました。			
[計画と実績]		H24	H25	H26
	窓口などにおける説明や働きかけ	実績:実施	実績:実施	実績:-

(2)学習団体による学習成果の地域還元(芸術や文化事業)		[担当] 生涯学習センター		
[事業内容]	市民等の学習団体が企画運営する音楽会や朗読会などの芸術や文化に親しむイベント等に対し、施設の優先予約や企画相談などの支援をしました。			
[計画と実績]		H24	H25	H26
	学習団体企画運営の芸術や文化事業数	計画:13 事業 実績:10 事業	計画:14 事業 実績:31 事業	計画:15 事業 実績:-

(3)つる舞の里歴史資料館の運営		[担当] 文化振興課		
[事業内容]	市民が気軽に郷土の歴史や文化を知ることのできる機会として、講座や企画展示を実施し、その周知を図りました。			
[計画と実績]		H24	H25	H26
	講座や企画展示の実施	実績:実施	実績:実施	実績:-
	さまざまな情報媒体を用いて広く市民に周知	実績:実施	実績:実施	実績:-

(4) 郷土民家園の運営**[担当] 文化振興課**

[事業内容] 市指定の文化財として、郷土民家園を開放します。郷土学習の場となるよう、年中行事・教室・展示などの企画事業を行いました。



郷土民家園

[計画と実績]	H24	H25	H26
企画事業の開催回数	計画:36回 実績:27回	計画:36回 実績:29回	計画:36回 実績:-

(5) 下鶴間ふるさと館の運営**[担当] 文化振興課**

[事業内容] 郷土学習の場となるよう、企画展・年中行事などの企画事業を行いました。

[計画と実績]	H24	H25	H26
企画展・年中行事・自主事業の開催回数	計画:15回 実績:18回	計画:18回 実績:17回	計画:20回 実績:-

個別目標1—(1) 生涯各期に合わせた学習機会の提供	[施策の達成度] B
<p>[施策の成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯各期における様々な問題を取り上げ、市民ニーズに応じた学習機会を提供しました。 【乳幼児期】 乳幼児家庭教育セミナーや集いのための保育室開放事業のほか、多くの事業を実施しました。CSPインストラクターによる「怒鳴らない子育て講座」などは、参加者から好評を得ており、乳幼児を抱える保護者の心の負担を軽減することができました。 【青少年期】 青少年期の子どもを持つ保護者のための児童家庭教育セミナーのほか、青少年のための体験活動の場を数多く提供しました。夏休みに開催するものづくり講座やボランティア体験講座、自己表現のための演劇講座など、様々な機会を提供しました。 【成人期】 成人期の抱える課題を解決するための講座を行いました。地域との関わりの少ない男性のための「MEN'S講座」や働くお母さんのために「子育てしながら働くということ」について、改めて見つめ直す講座などを行い、好評を得ました。また、視覚障がい者のためのパソコン講座や保育ボランティアを養成する講座など、能力開発の講座等も行いました。 【高齢期】 高齢者の生きがいや健康づくりのためのシニアセミナー等を行い、多くの方に参加いただきました。超高齢化社会に向け、心豊かなシニアライフ等に関わる講座を行いました。 ・図書館では、読書活動を普及するためには、家庭での読書が大事であることから、平成24年度よりスタートとした「子ども読書力向上プラン」の実施計画の重点項目である「家読の推進」を行うために、毎月23日を「やまと家読の日」と定め、家読ブックリストや家読ノート^{うちどく}を配布するなど、読書推進活動を一層広めることによって、こどもが本と触れ合う機会をさらに増やすことができました。 ・大和ユースクラブでは、自主性や企画力等を育て、協調性や社会性を身につけることができました。 <p>[今後の課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯各期における市主催の講座等の開催数は、それぞれ平成25年度の目標を達成していますが、学習した人々が継続して学習できるよう、学習者による学習会やサークル等ができるよう、今後も支援していく必要があります。 ・こどもが本と触れ合う機会を増やすためには、図書館で、おはなし会の充実を図ることも必要であることから、引き続き、おはなし会を担うボランティアを養成し、事業の継続を図る必要があります。 ・家庭での読書活動をより広めるため、家読推進事業として、こどもが読書活動を始めるきっかけづくりとなる取り組みを実施していく必要があります。 ・大和ユースクラブでは、会員数の増加は図れましたが、引き続き若い世代（中学生、高校生）の会員の確保に努める必要があります。 <p>[特記事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少年洋上体験は大阪市所有の帆船「あこがれ」が平成25年3月運航廃止となったため、本事業も廃止となりました。平成26年度から代替事業として、新たにこども体験事業を実施します。 	

成果を計る主な指標	単位	計画策定時 (H22)	実績値			中間目標値 (H26)	最終目標値 (H30)
			H24	H25	H26		
乳・幼児期に対応する講座や教室など事業への延べ参加者数	人	市主催 12,684	11,794	11,951		15,440	16,210
		学習団体 5,047	5,934	5,753		8,410	11,210
保育室開放や交流事業などの延べ参加者数	人	17,130	14,203	14,173		18,720	21,070
図書館や保育園などでのおはなし会の延べ参加者数	人	1,549	1,933	2,119		1,780	2,000
絵本を配布した4か月児健診受診者の割合(%)	%	97.5	98.8	99.3		97.5	97.5
青少年期に対応する講座や教室など事業の延べ参加者数	人	市主催 1,140	1,410	1,633		1,380	1,440
		学習団体 300	288	33		375	520
ユースクラブの活動日数	日	65	98	103		83	85
少年洋上体験の参加者数(新規乗船者)	人	21	(実施せず)	(事業廃止)		25	30
成人期に対応する講座や教室などの事業の延べ参加者数	人	市主催 78	476	285		85	98
		学習団体 60	25	500		120	150
高齢期に対応する講座や教室などの事業の延べ参加者数	人	市主催 222	363	463		290	370
		学習団体 652	1,079	1,059		690	730

個別目標1—(2) 市民のニーズや現代的課題に合わせた学習機会の提供	[施策の達成度] B
------------------------------------	-------------------

[施策の成果]

- ・現代的課題とは、社会の急激な変化に対応し、人間性豊かな生活を営むために人々が学習する必要のある課題です。男女共同参画型社会のために「男の料理教室」、豊かな人間性を育むために「子ども book フェア」、国際理解のための「日本語ボランティア教師養成講座」、人権啓発のために「エイズフォーラム」など様々な現代的課題を取り上げて市民と共に学習しました。
- ・また、大震災以降、防災に対する備えが重要になってきています。「防災マップ作成講座」など新たな問題も取り上げ市民への意識啓発に努めました。

[今後の課題]

- ・市民が抱えている問題を捉えるために常に市民とのコミュニケーションを図るよう心掛けるとともに様々な社会の動きに関心を持つことが大切です。
- ・また、講座終了後のアンケートなどを通じて市民のニーズをつかむとともに講座参加者と交流することも必要です。
- ・市の各行政分野は、様々な現代的課題を日常業務として扱っています。それらの業務を市民の学習活動に活用するために、市民への学習会を開催するなど、学習機会を提供する必要があります。

成果を計る主な指標	単 位	計画策定時 (H22)	実績値			中間目標値 (H26)	最終目標値 (H30)
			H24	H25	H26		
アンケートによって把握する参加者の満足度（満足度とは、アンケート回答総数のうち、大変満足・満足と回答した割合）	%	学級講座 61	89	91		75	90
現代的課題に関する講座や教室などの事業の延べ参加者数	人	市主催 2,358	6,633	7,638		2,430	2,510
		学習団体 3,000	3,891	1,986		3,210	3,440

個別目標1—(3) スポーツや健康に関する学習機会の提供	[施策の達成度] A
------------------------------	-------------------

[施策の成果]

- ・児童に対する食育や歴史を学びながら歩くことで健康増進を図る講座など、健康に関する学習機会を提供することができました。
- ・市民の学習団体が企画・運営するスポーツ講座の支援を行うことで、講座を開催する学習団体が増え、卓球教室、健康体操や社交ダンスなど、気軽に参加できる学習機会を数多く提供することができました。

[今後の課題]

- ・市民の健康に対する意識の高まりとともに、市や市民団体が開催する健康体操などへの関心が強くなってきています。市民ニーズに応じた学習機会を提供するために、市民団体の活動を広くお知らせしていく必要があります。
- ・より多くの方が気軽に参加できるよう、さまざま教室やイベントに関する参加者アンケート等を実施し、企画内容の検討を進めていくことが必要です。
- ・市民の学習団体が企画・運営する講座が、安定して継続的に開催できるような支援を講じていく必要があります。

成果を計る主な指標	単位	計画策定時 (H22)	実績値			中間目標値 (H26)	最終目標値 (H30)
			H24	H25	H26		
健康を増進する講座や教室などの事業の延べ参加者数	人	市主催					
		学習団体					
		101	353	95		121	150
		924	620	1,038		1,060	1,200

個別目標1—(4) 芸術・文化・歴史に関する学習機会の提供	[施策の達成度] B
-------------------------------	-------------------

[施策の成果]

- ・林間学習センター、桜丘学習センター、渋谷学習センターにおいて音楽公演会などを実施し、学習センターによる芸術・文化活動が充実しました。
- ・つる舞の里歴史資料館では、平成18年度より「つるまい土曜講座」を開催しました。特に、受講者参加型講座が好評を得ており、市民に定着した講座として親しまれています。

[今後の課題]

- ・新たな芸術文化ホールの開館に向け、芸術活動や文化活動を行う市民団体と共に、文化芸術活動をさらに推進していく必要があります。
- ・文化財3施設（つる舞の里歴史資料館、郷土民家園、下鶴間ふるさと館）の合同企画事業を年間2回実施するなど、今後も、施設の個性や魅力を伝え、多くの方が訪れるよう、企画内容や展示テーマを検討し取り組む必要があります。

成果を計る主な指標	単位	計画策定時 (H22)	実績値			中間目標値 (H26)	最終目標値 (H30)
			H24	H25	H26		
ギャラリーでの展示会開催延べ日数(つきみ野・桜丘・渋谷の各学習センター)	日	703	635	658		720	740
学習団体が自主的に企画運営する芸術や文化に関する事業(講座や教室などの延べ参加者数)	人	868	1,054	2,294		1,180	1,570
つる舞の里歴史資料館で開催する講座の延べ参加者数	人	86	168	155		116	140

成果を計る主な指標	単位	計画策定時 (H22)	実績値			中間目標値 (H26)	最終目標値 (H30)
			H24	H25	H26		
各文化施設の延べ入館者数	人	つる舞の里 歴史資料館 6,131	5,669	4,416		6,310	6,370
		郷土民家園 74,874	55,799	49,325		77,000	80,000
		下鶴間ふるさと館 7,378	6,275	5,565		7,490	7,600

施策目標 1 学習による自己充足を図ります	[総合評価] B
<p>【施策目標1に対する評価及び目標達成に向けた施策の展開方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別目標達成に向け、積極的に取り組んでおり、概ね成果が得られています。 ・学習センターが主催する講座・教室、また図書館によるおはなし会など、さまざまな年齢層にあわせた事業へ、多くの方に参加いただくことができ、生涯各期に合わせた学習機会を提供することができました。特に、成人期、高齢期に対応する事業の充実に努めた結果、平成22年度の計画策定時に比べ、参加者数の大幅な増加がみられ、多様な市民ニーズに対応できました。 ・平成22年度の計画策定に比べ、現代的課題に関する講座や教室などの参加者が減少傾向にある一方で、健康を増進する講座や教室などの参加者は若干増加しています。参加者の市民ニーズも考えながら、学習成果の発表の場として、また学習を通じた交流や人との関わりを生み出す場として、学習団体が開催する講座や教室等は、重要なものと捉えています。引き続き、学習団体が活発に活動できるよう支援するとともに、新規団体による開催を働きかけていく必要があります。 ・文化財3施設については、東日本大震災の影響により来館者数が大幅に減少し、平成24年度はやや増加したものの、計画策定時の実績を上回ることができませんでした。入館者数の増加を目指して、市民ニーズに合わせた事業の実施、3施設の合同企画展開催など、魅力ある事業展開に努めます。 	

施策目標2 学習により人と人をつなげ、地域に学習活動を広げます

仲間と共に学ぶことによって、相互のつながりや交流が生まれます。

学びを通して市民が互いに連帯感を深めることができるよう、積極的に支援していくことが必要です。

施策目標2では、情報提供や学習相談による支援、地域での学びを支える担い手への支援、そして地域のコミュニティづくりへとつながる活動や団体への支援といった、3つの個別目標に基づき、自主的な学習活動をより多くの市民に広げていきます。

■実施計画掲載事業と平成25年度の実績

▼個別目標2—(1) 情報提供や学習相談による支援

●生涯学習に関する情報提供の充実によって、市民の学習をより活発にします。

- ・必要としている人に必要とされる情報が届き、学習活動へとつながるよう、体系的かつ効果的な情報伝達をしていきます。
- ・講座の内容や募集方法、施設の場所や利用方法など、様々な学習に関する情報提供をしていきます。
- ・催事情報・人材情報・団体情報などについても、各種メディアによる提供を充実させます。
- ・関係施設に関する情報や、民間情報についても積極的に提供するなど、情報を収集・整理し、提供する機能を充実させます。

●学習相談によって、市民の学習をより活発にします。

- ・学習希望者の様々なニーズに対応するため、適切・的確な学習相談ができる支援体制を整えます。

(1)生涯学習情報の提供および学習相談の実施(学習情報収集コーナー) [担当] 生涯学習センター

【事業内容】 学習情報収集コーナーが学習センターに設置していることの周知を図り、常に新しい情報を提供しました。

【計画と実績】	H24	H25	H26
さまざまな情報媒体を用いて広く市民に周知	実績:実施	実績:実施	実績:-

(2)図書資料の貸出 [担当] 図書館

【事業内容】 さまざまな図書資料を幅広く収集し、市民に貸し出し、その学習活動を支援しました。また、図書館間の相互貸借などにより、利用者が必要とする資料提供を行いました。

【計画と実績】	H24	H25	H26
図書館の蔵書数	計画:438,620 冊 実績:466,193 冊	計画:448,450 冊 実績:482,570 冊	計画: 458,280 冊 実績:-

(3)生涯学習情報の提供および学習相談の実施(生涯学習・社会教育の専門職員の配置)**[担当] 生涯学習センター****[事業内容]** 市民の学習相談に対応できるよう、さまざまな関連情報を収集整理し、生涯学習・社会教育の専門職員を配置しました。

[計画と実績]	H24	H25	H26
社会教育主事の配置 人数	計画:10人 実績:10人	計画:11人 実績:9人	計画:12人 実績:-
社会教育指導員の 配置	実績:配置	実績:配置	実績:-

(4)図書情報の提供**[担当] 図書館****[事業内容]** 図書館のホームページや新着図書の情報提供を充実させ、レファレンス(利用者が必要とする資料や情報を検索・提供すること)業務に活かしました。

[計画と実績]	H24	H25	H26
参考図書数	計画:26,097冊 実績:28,063冊	計画:26,879冊 実績:29,058冊	計画:27,685冊 実績:-
レファレンス業務	実績:実施	実績:実施	実績:-

▼個別目標2—(2) 人材や団体の育成と活用に関する支援

●学習者や学習支援者、学習団体の育成と活用に関する支援を充実します。

- ・市民の学習活動が円滑に行われるよう学習者や学習支援者、学習団体を支援します。それとともに「知の循環型社会」の構築をめざし、学習の成果を市民の生涯学習の推進に活かします。

(1)社会教育関係団体等の登録および育成		[担当] 生涯学習センター		
[事業内容]	地域学習交流事業を推進することで、サークル活動を活発にし、より多くの社会教育関係団体を育成しました。			
[計画と実績]		H24	H25	H26
	地域学習交流事業を実施する団体数	計画:72 団体 実績:78 団体	計画:80 団体 実績:87 団体	計画:92 団体 実績:-

※ 地域学習交流事業は、制度改正に伴い、支援事業のみを対象とする制度となりました（共催事業は制度対象外となりました）。しかし、実績値比較のため、共催事業実施の団体数も含んで抽出しています。

(2)図書ボランティア養成講座の実施		[担当] 図書館、生涯学習センター		
[事業内容]	読み聞かせボランティアを養成するため、スキルに合わせた講座を実施しました。			
				
		読み聞かせボランティア養成講座		
[計画と実績]		H24	H25	H26
	「読み聞かせボランティア養成講座」の開催回数	計画:2 回 実績:7 回	計画:2 回 実績:7 回	計画:2 回 実績:-

▼個別目標2—(3) 学習による市民相互の交流への支援

- 市民相互が交流し、地域コミュニティを育むことができるような学習活動や学習成果の発表を支援します。
- ・学習による市民相互が交流できる場を充実します。
- 市民の交流機会を創出する学習団体を支援します。
- ・学習成果の発表などによって、交流を創出する学習団体への支援を充実します。

(1)生涯学習センターまつりの実施		[担当] 生涯学習センター		
[事業内容]	学習センターまつりに利用団体のみならず、地域の団体にも広く参加を呼びかけ、より多くの団体の発表・交流の場としました。 また、市民の実行委員会による実施を推進しました。			
[計画と実績]		H24	H25	H26
	学習センターまつりに参加してもらうための説明や企画相談等	実績:実施	実績:実施	実績:-

(2)学習団体による学習成果の地域還元		[担当] 生涯学習センター		
[事業内容]	市民の学習団体が企画運営する発表会や展示会等の地域交流型講座等に対し、施設の優先予約や企画相談等の支援をしました。			
[計画と実績]		H24	H25	H26
	利用者懇談会等で支援システムを説明した回数(5館合計)	計画:10回 実績:7回	計画:12回 実績:9回	計画:15回 実績:-
	利用者懇談会等で企画相談について説明した回数(5館合計)	計画:10回 実績:7回	計画:12回 実績:9回	計画:15回 実績:-

個別目標2—(1) 情報提供や学習相談による支援						[施策の達成度] B	
<p>[施策の成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体サークル情報及び生涯学習ガイドブックの発行、広報やまとによるお知らせなどを通じて、継続的に学習情報を提供し、学習を希望する市民の支援に努めました。 ・学習団体の活動を他の団体や市民の学習の場として広げるために、窓口において、学習団体の活動内容の説明などをきめ細かに行い、積極的に活動を行っている団体の支援に努めました。 ・広報やまとへの掲載などを行いました。学習情報コーナーの利用件数、学習団体や講座などに関する相談件数は減少しました。 <p>[今後の課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報やまとやホームページ、冊子づくりなどによる広報活動以外に、団体による発表や体験会など、市民が触れ、感じる機会を設けることが学習活動へのきっかけとなり、学習相談へとつながります。そのため、学習団体が積極的に交流機会を設ける活動を支援し、関連付け、学びを通して人と人をつなげていく必要があります。 							
成果を計る主な指標	単位	計画策定時 (H22)	実績値			中間目標値 (H26)	最終目標値 (H30)
			H24	H25	H26		
施設情報検索を含めた学習情報収集コーナーの利用件数	件	11,618	11,732	10,274		12,000	12,500
市民一人当たりの貸出冊数	冊	4.57	4.60	4.55		5.30	5.87
学習団体や講座など学習に関する相談件数	件	5,182	5,379	4,184		5,830	6,810
レファレンス受付件数	件	206	140	198		250	300

個別目標2—(2) 人材や団体の育成と活用に関する支援				[施策の達成度] B			
<p>[施策の成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の多様化に伴い、さまざまな市民の活動が行われています。それらの活動に対する相談などを通して、学習団体の増加を図りました。 ・また、定期的に行われる学級・講座等により、学習を継続していく団体づくりの支援に努め、学習団体の登録数が増加しました。 ・市民団体が実施するスポーツやレクリエーション活動を通じて、市民の体力向上及び青少年の健全育成に努め、多くの市民に参加いただきました。 ・市民がボランティア講師として登録する「やまと生涯学習ねっとわあく」や市民ボランティアをガイドスタッフとして派遣する「対話による美術鑑賞授業」などとの連携を図りました。 <p>[今後の課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習団体の構成員の高齢化などにより、活動を継続していくことが困難になっている団体が増えています。継続した団体活動が行えるよう相談等を推進していくとともに、各団体の自主的活動の活発化や自立に向けた支援策の検討が必要です。 ・また、学習団体間の交流の活発化を図り、団体内の活動から地域・社会へ広がりのある活動にする必要があります。 							
成果を計る主な指標	単位	計画策定時 (H22)	実績値			中間目標値 (H26)	最終目標値 (H30)
			H24	H25	H26		
学習団体の登録数	団体	1,300	1,652	1,690		1,450	1,650
「読み聞かせボランティア養成講座」の延べ参加者数	人	260	120	147		275	285

個別目標2—(3) 学習による市民相互の交流への支援	[施策の達成度] B
----------------------------	-------------------

[施策の成果]

- ・社会教育関係団体等を対象とした利用者懇談会などを利用し、機会あるごとに学習団体の交流・発表の場である「学習センターまつり」等への参加を促し、多くの団体が参加しました。
- ・また、市民による生涯学習社会を推進するため、社会教育関係団体等が実施する学習活動（地域学習交流事業）を積極的にPRし、学習による相互交流の支援に努めました。

[今後の課題]

- ・社会教育関係団体以外の団体等へも働きかけ、市民への学習活動を通じた交流機会を継続して提供していく必要があります。そのためには、多様な学習等が継続して行えるよう、行政の協力体制を整える必要があります。
- ・「学習センターまつり」は地域に根ざした学習団体の交流と発表の場として市民に定着しておりますが、参加する団体の固定化をどのように防いでいくかが課題となっております。
- ・平成25年度は、地域学習交流事業の支援制度を見直し、市が共催するものと支援するものに区分けしましたが、より学習団体の活動が活発になるよう工夫していく必要があります。

成果を計る主な指標	単位	計画策定時 (H22)	実績値			中間目標値 (H26)	最終目標値 (H30)
			H24	H25	H26		
学習センターまつり参加団体数(学習センター5館合計)	団体	149	169	157		155	165
地域学習交流事業の支援件数	件	生涯各期・現代的課題・芸術文化に関する事業	54	51	83	71	88
		その他交流事業	39	39	22	42	45

※ 地域学習交流事業は、制度改正に伴い、支援事業のみを対象とする制度となりました（共催事業は制度対象外となりました）。しかし、実績値比較のため、共催事業も含んで抽出しています。

施策目標 2 学習により人と人をつなげ、地域に学習活動を広げます

[総合評価]

B

[施策目標2に対する評価及び目標達成に向けた施策の展開方針]

- ・学習活動を通じて、目標の達成に向け、概ね目標を達成することができました。
- ・積極的な情報提供や相談業務により、学習団体の登録数や学習センターまつりへの参加団体数などが増加し、学習を通じた市民相互の交流を図ることができました。
- ・社会教育主事及び社会教育指導員を各学習センターに配置し、情報提供や学習相談に対応することで、学習を希望する方の様々なニーズに対応することができました。
- ・また、図書館では、レファレンス業務に活用される参考図書数の増加を図り、学習活動の支援に努めました。
- ・さらに、利用者が調べ物をしたり情報を検索するための解説を盛り込んだパスファインダーを作成し、より高度なレファレンス業務体制を構築していきます。
- ・今後は、学習団体が学習成果を発表できる場を設け、学習の地域還元と市民の相互交流が図れるよう支援していきます。利用者懇談会の回数を増加し、支援システムの説明や企画等の相談業務をきめ細かに行っていきます。
- ・学習活動などを通して、人と人のネットワークづくりに努め、地域・社会へ広がりのある地域活動の支援を行っていきます。

施策目標3 学習のための環境や仕組みを整えます

施策目標1・2を達成するためには、学習のための環境づくりや仕組みづくりが欠かせません。そのため施策目標3では、施設の整備と充実、生涯学習を支援・推進する体制の充実、および関係機関との連携推進といった、3つの個別目標に基づき、生涯学習を推進するための基盤を充実します。

■実施計画掲載事業と平成25年度の実績

▼個別目標3-(1) 施設の整備と充実

- 学習施設の適切な整備と機能の充実により、快適な学習環境を実現します。
- ・施設の整備を推進するとともに、既存施設の適切な活用を行いながら、機能の充実を図り、快適な学習環境を提供します。
- ・老朽化した生涯学習センターと図書館にかわる新たな生涯学習施設を整備します。

(1)社会教育・スポーツ・文化施設の管理運営

[担当] 生涯学習センター、こども・青少年課、文化振興課

[事業内容]	適正な施設の維持管理や、速やかな修繕を実施しました。		
[計画と実績]	H24	H25	H26
適切な整備			
機能の充実	実績:実施	実績:実施	実績:-

(2)新たな生涯学習施設の整備

[担当] 生涯学習センター

[事業内容]	多様な学習活動や文化芸術の振興に対応する生涯学習施設の整備に着手しました。		
[計画と実績]	H24	H25	H26
生涯学習施設			
	実績:検討	実績:検討	実績:-

▼個別目標3—(2) 支援・推進体制の充実

- 行政の専門性を生かして、市民の生涯学習を支援します。
 - ・行政の各部門と連携した生涯学習施策を推進します。
- 学識経験者とともに生涯学習活動を推進する方策の検討を行います。
 - ・生涯学習活動を推進するために、方策の検討を行う各種会議を実施します。

(1)社会教育委員会議の運営		[担当] 生涯学習センター		
[事業内容]	社会教育委員会議(定例会・臨時会)等を開き、生涯学習の振興のための施策について協議しました。			
[計画と実績]		H24	H25	H26
	会議開催数	計画:4回 実績:6回	計画:4回 実績:9回	計画:4回 実績:-

▼個別目標3—(3) 関係機関との連携推進

- より幅広い生涯学習施策を推進するため、学校や市民の学習団体、民間教育機関、個人ボランティアなどとの連携を図ります。
- ・学校との連携を図り、学校施設を生涯学習の場として開放するほか、その教育力を生涯学習に活かします。
- ・民間教育機関、市民の学習団体や個人ボランティアなどとの連携により、その教育力を生涯学習施策に活かします。

(1)学習団体による学習成果の地域還元		[担当] 生涯学習センター		
[事業内容]	学習団体が学習した成果を市民に還元する機会を増やすために、利用者懇談会や生涯学習推進説明会等で「地域学習交流の実施方法やその意義」について説明しました。			
[計画と実績]		H24	H25	H26
	利用者懇談会等における説明会数 (5館合計)	計画:10回 実績:7回	計画:12回 実績:9回	計画:15回 実績:-

(2)特別教室の開放		[担当] 生涯学習センター		
[事業内容]	学校との調整を図りながら、地域の学習の場としての特別教室の開放をしました。そのために、学校開放のための学校開放運営委員会を開催し調整を図りました。			
[計画と実績]		H24	H25	H26
	学校開放運営委員会 会議開催回数	計画:2回 実績:2回	計画:2回 実績:2回	計画:2回 実績:-

個別目標3—(1) 施設の整備と充実				[施策の達成度] B			
<p>[施策の成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大和駅東側第四地区市街地再開発事業において、芸術文化ホールをはじめ、新たな図書館と生涯学習センターなどの開設に向けた準備を進めています。大和駅近くの公益施設に公共機能を集約することにより、市民の利便性を図ることができます。 ・公益施設の開設にあたっては、図書館及び学習センター機能の充実を図り、だれもが気軽に利用できる、利用者の視点にたったサービスを提供できるよう検討しています。 ・市民が郷土の歴史に気軽に接することができるよう、歴史的建造物（郷土民家園・下鶴間ふるさと館）の保存と一般公開に努めました。 ・泉の森キャンプ場は前年度比 233 人の利用者増となり、青少年団体や親子のふれあいの場として活用されました。 <p>[今後の課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公益施設の開設にあたっては、連携からさらに融合へと利用者の視点にたったサービスを提供できるようさらに検討する必要があります。 ・施設の老朽化への対応など、安全で快適な環境づくりが必要です。 ・歴史的建造物は貴重な文化財であるとともに、地域の文化を継承し、郷土愛を醸成するための重要な拠点となっています。良好な状態を維持するためには、計画的な維持管理を行っていく必要があります。 							
成果を計る主な指標	単位	計画策定時 (H22)	実績値			中間目標値 (H26)	最終目標値 (H30)
			H24	H25	H26		
社会教育・文化施設の利用件数	件・人	学習センター 37,229	37,545	37,695		44,820	44,820
		泉の森ふれあいキャンプ場 14,051	14,513	14,746		14,100	14,150

成果を計る主な指標	単位	計画策定時 (H22)	実績値			中間目標値 (H26)	最終目標値 (H30)
			H24	H25	H26		
各文化施設の延 べ入館者数 再掲	人	つる舞の里 歴史資料館 6,131	5,669	4,416		6,310	6,370
		郷土民家園 74,874	55,799	49,325		77,000	80,000
		下鶴間ふる さと館 7,378	6,275	5,565		7,490	7,600
新たな生涯学習施 設の整備	—	—	検討	検討		完成・市民に提供	

個別目標3—(2)支援・推進体制の充実						[施策の達成度] B	
[施策の成果]							
<ul style="list-style-type: none"> 社会教育関係団体等による地域の交流機会の拡大により、学びを通じた交流や地域のコミュニティづくりが生まれます。団体同士の交流により、昨年引き続き詩吟の発表会においてボランティア講師の書道のパフォーマンスが行われました。 社会教育委員の研究活動の一環として、児童・生徒の読書活動の推進を図るために、児童・生徒向けパンフレット（「家読<small>うちどく</small>のススメ」）を作成し、市内小中学校に配布しました。 							
[今後の課題]							
<ul style="list-style-type: none"> 市民の生涯学習への機会づくりにつなげるため、社会教育関係団体やボランティア講師間の交流に留まることなく、さまざま主体による交流が活発に行えるような場を創出する必要があります。 社会教育委員による研究活動が継続的に行える環境づくりを行い、研究・提言を活かし市民とともに社会教育・生涯学習を推進するための体制を構築していく必要があります。 							
成果を計る主な指標	単位	計画策定時 (H22)	実績値			中間目標値 (H26)	最終目標値 (H30)
			H24	H25	H26		
審議した案件数	件	社会教育 委員会議 5	5	6		6	6

※審議した案件

- ①平成25年度社会教育関係団体への補助金について
- ②大和市の読書活動について
- ③教育委員会点検・評価（案）について
- ④神奈川県社会教育委員連絡協議会地区研究会（大和市会場）について
- ⑤大和市社会教育委員に関する条例の一部を改正する条例について（諮問）
- ⑥大和市社会教育委員会議規則の一部改正について

個別目標3—(3)関係機関との連携推進	[施策の達成度] B
---------------------	-------------------

[施策の成果]

- ・学習団体による地域学習交流事業の実施や特別教室開放を実施したことにより、より身近な地域での学習活動を推進するなど、学習のための環境や仕組みを整えることができました。

[今後の課題]

- ・より幅広く生涯学習施策を推進するためには、地域との連携が不可欠なものとなります。しかしながら、高齢化やライフスタイルの変化により、学習団体等でも新たな人材を確保することが困難な状況となっています。

成果を計る主な指標	単位	計画策定時 (H22)	実績値			中間目標値 (H26)	最終目標値 (H30)
			H24	H25	H26		
地域学習交流事業を実施する学習団体数	団体	72	78	87		81	92
特別教室開放を実施している学校数	校	6	9	9		9	28
青少年指導員の活動延べ日数	日	456	457	460		456	460

※ 地域学習交流事業は、制度改正に伴い、支援事業のみを対象とする制度となりました（共催事業は制度対象外となりました）。しかし、実績値比較のため、共催事業実施の団体数も含んで抽出しています。

施策目標3 学習のための環境や仕組みを整えます	[総合評価] B
-------------------------	-----------------

[施策目標3に対する評価及び目標達成に向けた施策の展開方針]

- ・青少年指導員連絡協議会など地域を基盤とした組織や団体との連携に努め、概ね目標とした成果が得られています。
- ・学びによる充足感を満たし、地域に学習活動を広げていくためには、学習のための環境や仕組みを整える必要があります。
- ・学習活動を支援し、推進するためには、学校や市民の学習団体との連携と協力が必要です。各地域で青少年の健全育成を推進する青少年指導員連絡協議会が中心となって、親子で大和市の史跡、名所を歩く、「親子ナイトウォークラリー」を開催するなど、地域における人とのつながりを広げることができました。
- ・地域における学習の場として、多くの方に特別教室を利用いただいています。今後も、学校や学校開放運営委員会との連携により、より利用しやすい特別教室の開放を目指します。
- ・地域を基盤とした組織や団体の活動は、市民交流の促進や地域コミュニティの形成につながります。活動を継続的に支援し、住みやすいまちづくりを目指します。

— 事 務 担 当 —

教育部 教育総務課 政策調整担当

TEL 046 (260) 5203 (直通)

文化スポーツ部 文化振興課 政策調整担当

TEL 046 (260) 5255 (直通)